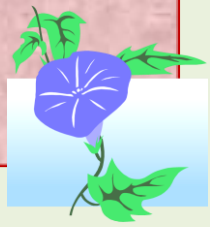
北陸支部報

2014/7/23
第　3号

目　次

平成 26 年度北陸支部業務報告会……2
平成 26 年度北陸支部空間情報技術事例発表会開催される……4
平成 26 年度北陸支部事業計画……8
平成 25 年度講習会開催報告……9
行事等の報告……10
公共測量品質管理優秀賞表彰行われる……10
ジオメトリストの会（GMの会）発足……11
ｅラーニングシステムの導入……11
会員の状況……12
公益社団法人日本測量協会北陸支部
「空間情報技術事例発表会」開催要綱……12



公益社団法人
日本測量協会　北陸支部

平成 26 年度　北陸支部業務報告会

北陸支部では 7 月 17 日（木）に新潟第一ホテルにおいて、平成 26 年度北陸支部業務報告会を開催しました。

今年は、富山を離れて初めて新潟で開催するということもあり、50 名という多くの会員の皆さんが出席されました。先ず鹿田支部長から挨拶があり、引き続いて日本測量協会高橋常務理事から挨拶と日本測量協会の平成 25 年度事業報告要旨及び平成 26 年度事業計画要旨の報告がありました。この後、事務局から平成 25 年度の支部事業報告、平成 26 年度の支部事業計画及び今年度の支部役員の選出結果について説明と報告を行いました。また、永年支部役員として支部発展にご尽力いただき、この度退任された楠氏、北原、山本氏の 3 名に対して会長感謝状の授与と記念品が贈呈される旨の報告を行いました。

平成 26 年度　北陸支部役員

支　部　長	鹿田　正昭	金沢工業大学	教　授
副支部長	佐渡　　正	（一社）富山県測量設計業協会 舘下コンサルタンツ（株）	会　長 代表取締役社長
〃	新家　久司	（一社）石川県測量設計業協会 （株）国土開発センター	会　長 代表取締役社長
幹　事　長	若林喜久男	（一社）福井県測量設計業協会 （株）サンワコン	会　長 代表取締役社長
幹　　事	古川　征夫	（一社）新潟県測量設計業協会 (株)アルゴス	会　長 代表取締役
〃	山岸　陽一	（一社）新潟県測量設計業協会 （株）山岸測量事務所	副会長 代表取締役
〃	桑原　清一	（一社）新潟県測量設計業協会 （株）桑原測量社	副会長 代表取締役社長
〃	吉澤　　隆	（一社）新潟県測量設計業協会 （株）長　測	副会長 代表取締役社長
〃	鷲北　慎一	（一社）富山県測量設計業協会 北建コンサル（株）	副会長 代表取締役社長
〃	栄　　知之	（一社）富山県測量設計業協会 北陸コンサルタント（株）	副会長 代表取締役
〃	磯野　秀和	（一社）石川県測量設計業協会 （株）北日本ジオグラフィ	副会長 代表取締役社長
〃	黒木　康生	（一社）石川県測量設計業協会 （株）日本海コンサルタント	専務理事 代表取締役社長
〃	高岡　昌和	（一社）福井県測量設計業協会 丸一調査設計（株）	副会長 代表取締役
〃	中西誠一郎	（一社）福井県測量設計業協会 （株）帝国コンサルタント	専務理事 代表取締役社長

（退任者）　楠　則夫［前副支部長　（一社）富山県測量設計業協会　理事］
北原良彦［前幹事長　（一社）石川県測量設計業協会　理事］
山本英一［前幹事　前（一社）富山県測量設計業協会　副会長］

支部長挨拶（業務報告会）

鹿田正昭

本日は公益社団法人日本測量協会北陸支部平成２６年度業務報告会にご多忙のところご出席をいただきありがとうございました。また、協会本部からは高橋谷造常務理事にご出席をいただきました。ありがとうございます。

ご案内のように、当協会は昨年の４月１日をもって公益社団法人として新しくスタートいたしましたが、新規程のもとで運営された事業の報告は実質的には今年が最初となります。

公益社団法人への移行から本日まで支部役員の皆様方にはいろいろとご支援およびご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

日本測量協会は昭和２６年（1951）に設立され、社団法人として６０有余年にわたり「測量技術の普及発達と測量技術者の社会的地位向上」に貢献して参りましたが、その使命および目標を達成するために５つの戦略を構想しております。

第一に会員を増強する。特に学生や若い世代の技術者に希望をもってもらえるような支援おこなうこと。

第二に測量機器および測量成果の品質維持・向上に不可欠な「検定」を誠実に実施すること。

第三に人材育成として優秀な人材を育成し、その能力を活かすこと。

第四に公益社団法人に認定された機会を利用して、社会的知名度を上げるイベントを企画すること。

そして、

第五に全国に展開する十の支部を有機的にネットワーク化し、都市と地方との格差を解消し、さらなる相互交流を深める施策を実行すること。

であります。

特に第四、第五の目標は支部活動の活性化につなげるための施策も含まれると考えられ、本部指導の元、支部活動を活性化するための行動が必要になると考えました。

昨年の北陸支部役員会の席上、私より平成 26 年度の業務報告会から北陸支部会員の若手技術者が携わった業務内容を発表できる機会を設けていただくことができないかについて、検討してただくことを提案しました。

役員の皆様方、事務局そして会員の皆様方の真摯な取り組みによりまして、全国の支部では恐らく初めての試みとなる「北陸支部　空間情報技術事例発表会」を開催できる運びとなりました。

また、今年度よりこの業務報告会および空間情報技術事例発表会を北陸支部 4 県の持ち回りによる開催とし、今年は新潟で開催することとなりました。

新潟県測量設計業協会および関係各位のご尽力に心より感謝申し上げます。

本日の事業報告会の報告事項につきまして、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。最後になりましたが、ご出席の皆様方のご健勝とご活躍を祈念してご挨拶とします。

本日はご出席ありがとうございました。

平成 26 年度　北陸支部空間情報技術事例発表会開催される

今年度から開催されることになった平成 26 年度公益社団法人日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会は、業務報告会に引き続いて一般出席者が 80 名という予想を超える中で行われました。

冒頭、鹿田支部長の挨拶の中で、最優秀賞及び優秀賞を受賞された方には、本部が主催する空間情報技術事例報告集への投稿をオブリケーション（義務）としたい、と話され、その後７名の発表者から自分の体験や研究について発表されました。それぞれ発表時間１５分、質疑応答５分という制約の中で、発表のまとめ方や質問対策等大変苦労されたことと思います。それでも、各自工夫を凝らして発表されていましたし、審査員や参加者からの質問に対しても的確に答えていた感じがしました。

全ての発表が終了した後、審査員長の鹿田支部長他５名の審査員は別室で審査に入り、その他は懇談会場へ移動して、審査結果が出るまでの間、和やかに歓談されていました。

今回の審査は、①発表の着眼性、②まとまり具合、③発表資料の分かり易さ、④質疑応答に対する的確性、⑤時間の適正・話し方・態度の５項目による評価基準を設けて行っております。

審査の終了後、審査員も懇談会に加わり、暫くの後、国土地理院北陸地方測量部長益子栄様、北陸地方整備局地方事業評価管理官大石登様、新潟県土木部技術管理課工事検査課長高橋亮一様の３名から来賓の挨拶をいただきました。次に審査員長の鹿田支部長から成績発表が行われ、最優秀発表賞に株式会社ナカノアイシステム浅田律子さん、優秀発表賞に金井度量衡株式会社吉田雄一さんが選ばれ、両名に賞状と記念品が贈呈されました。続いて審査員を務めた、新潟大学工学部教授牧野秀夫先生から今回の発表会の講評をいただきました。最後は、高橋常務理事の中締めで、この日予定されていた全ての行事を盛況理に終了しました。

来年は富山で開催することにしておりますので、富山でもたくさんの応募をお待ちしております。

平成 26 年度　公益社団法人日本測量協会北陸支部
空 間 情 報 技 術 事 例 発 表 会 プ ロ グ ラ ム

◎発　表

［14:50～15:10］
①統合型 GIS における広域地図の変遷―空間データ基盤から地理院地図まで―
株式会社ナカノアイシステム　浅田　律子

［15:10～15:30］
②航空レーザ測量によって、見えてくるもの―過去の地形と現状把握―
株式会社ナカノアイシステム　小林　友和

［15:30～15:50］
③水稲生育調査における３Ｄレーザスキャナーの活用研究について
【長岡科学技術大学との共同研究】
株式会社桑原測量社　桑原　直樹

［15:50～16:10］
④レーザー点群データのクラウド運用の研究開発について
金井度量衡株式会社　八幡　竜也

∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞《休　　憩》∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

[16:20～16:40]

⑤安心安全なマルチロータヘリと空撮コンテンツの研究開発

金井度量衡株式会社　　吉田　雄一

[16:40～17:00]

⑥基準点改測における問題点と今後の課題について

株式会社新和測量設計事務所　　加藤　　満

[17:00～17:20]

⑦移動体計測車両を用いた測量業務について

株式会社オリス　　本田　久人

◎審査員

◯審査員長　鹿田正昭（北陸支部長・金沢工業大学環境・建築学部教授）

◯審査員　益子　栄（国土地理院北陸地方測量部長）

大石　登（北陸地方整備局地方事業評価管理官）

高橋亮一（新潟県土木部技術管理課工事検査室長）

牧野秀夫（新潟大学工学部教授）

高橋谷造（日本測量協会常務理事・事務局長）

支部長挨拶（空間情報技術事例発表会）

鹿田正昭

本日は日本測量協会北陸支部平成２６年度空間情報技術事例発表会にご多忙のところご出席をいただきありがとうございました。

この空間情報技術事例発表会は、本協会が昨年度公益社団法人に移行し、支部総会が業務報告会に変更になったことを機に、私より支部活動の活発化および若い技術者の方々の発表の機会と技術の研鑽、本部が主催する空間情報技術事例報告集への投稿を促すことを目的として発案させていただきました。

日本測量協会 10 支部の中で、初めての試みと思っております。発表会の開催にあたっては、支部役員、事務局および新潟県測量設計業協会の方々には大変ご尽力をいただきました。高いところからでありますが、衷心より感謝申し上げます。

本日はこの趣旨に賛同して新潟県を中心に７名の会員のご発表をいただくことになりました。発表者の方々にはそのご努力に深く敬意を表します。

また、国土地理院北陸地方測量部長の益子栄様、北陸地方整備局地方事業評価管理官の大石登様、新潟県土木部技術管理課工事検査課長の高橋亮一様、新潟大学工学部教授の牧野秀夫様、および日本測量協会の高橋谷造常務理事にはご多忙のところ審査員としてご参加いただきました。誠にありがとうございます。公平な審査をお願いしたいと存じます。

審査結果につきましては、発表会終了後の懇談会の席上で、最優秀賞１件および優秀賞１件を発表する予定です。

なお、最優秀賞および優秀賞に選ばれた方には、本部が主催する空間情報技術事例報告集への投稿をオブリゲーション（義務）としたいと思います。また、選に漏れた方々も積極的に投稿していただくことをお願いして、空間情報技術事例発表会のご挨

挨拶とさせていただきます。
それでは活発な質疑応答をお願いいたします。
本日はご出席ありがとうございました。

技術事例発表会・懇談会写真集

挨拶する鹿田支部長

小林さん

桑原さん

発表会風景

八幡さん

審査員の皆さん

審査の様子

質問する参加者

吉田さん

加藤さん

本田さん

挨拶する鹿田支部長

挨拶を聞く参加者

益子北陸地方測量部長

大石地方事業評価管理官

高橋工事検査室長

歓談の様子

歓談の様子

賞状を受ける浅田さん

講評する牧野先生

平成 26 年度　北陸支部事業計画

１．行事等実施計画

行　事　名　等	内　　容	時　期	場所
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（長岡会場）	4 月	長岡市
北陸支部役員会	年 2 回の定例会議	6 月･12 月	富山市
公共測量品質管理優秀賞表彰	測量成果の品質確保及び測量会社の技術力向上	6 月	富山市
北陸支部業務報告会	会員に対する北陸支部の業務を説明する年 1 回の定例報告会	7 月	新潟市
(公社)日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会	空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報の共有化を図る	7 月	新潟市
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（富山会場）	3 月	富山市

２．支部主催講習会計画

講　　習　　会　　名	開催予定	会　　場
測量･地図の基礎講座　測量数学・誤差学の基礎（web）	26．4.10	富山市（測量会館）
測量士答案練習セミナー（web）	26.4.12～15	富山市（測量会館）
ＧＮＳＳによる基準点測量	26．5.15	福井市（地域交流プラザ）
路線測量（web）	26．5.21	富山市（測量会館）
用地測量(web)	26．5.22	富山市（測量会館）
「簡易型技術提案書」ブラッシュアップ講座（中級編）	26.5.29～30	新潟市(新潟県民会館)
ＴＳによる 3，4 級基準点測量	26．6．3	上越市(市民プラザ)
公共基準点測量成果の取りまとめ	26．6．5	三条市(燕三条地場産業振興センター)
ネットワーク型ＲＴＫ法による公共測量	26．6.18	新潟市（新潟テルサ）
電子成果の作り方	26．7．1	長岡市（ハイブ長岡）
デジカメを使った写真測量の応用（中級編）	26.8.1～2	野々市市（金沢工業大学）
地理空間情報技術セミナー＜会員無料＞	26．9．9	富山市（ボルファートとやま）
測量・地図の中級講座　ＧＮＳＳ	26.10.7～8	新潟市(新潟県民会館)
測量・地図の中級講座　ＴＳ	26.10.9～10	新潟市(新潟県民会館)
測量士補答案練習セミナー（web）	27.3.10～13	富山市（測量会館）

参考：本部主催

講　習　会　名	開催予定日	会　場
河川測量設計（Ⅰコース）web	4.21～25	富山市（測量会館）
防災調査（Ⅰコース）web	6.23～27	富山市（測量会館）
基準点測量Ｂ課程（水準測量コース）	7．7～11	富山市（いこいの村磯波風）
河川測量設計（Ⅱコース）web	9．1～ 5	富山市（測量会館）
防災調査（Ⅱコース）web	9.30～10.3	富山市（測量会館）

３．会員サービス

①　基準点測量成果謄抄本交付申請代行事務
②　販売図書の代金後払い制度の適用
③　正会員に対する測量ＣＰＤ登録代行事務（無料）
④　北陸支部報のウェブサイト刊行　　年２回（７月及び１月）
⑤　メールマガジン「北陸支部通信」の配信　　原則月１回
⑥　当協会のウェブサイト「支部からのお知らせ」を活用し、支部の情報提供を図る

平成 25 年度　講習会開催報告（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

平成 25 年度の講習会は、前年を大きく上回る受講者数となりました。特に新潟県内での講習会が好調で、中でも「ＧＮＳＳによる 1，2 級基準点測量」、「デジタルカメラを使った写真測量のしかた」、「路線測量」、「用地測量」等が多くの受講者を集めた講習会となりました。

【支部主催講習会】

開催日	講　習　会　名	講　師	開　催　場　所	受講者
4 月 16 日	電子成果の作り方	松本尚之	富山市（教育文化会館）	14 名
5 月 13 日	GNSS による 1，2 級基準点測量	山田正明	上越市（市民プラザ）	42 名
6 月 6 日	TS による 3，4 級基準点測量	山田正明	福井市（地域交流プラザ）	7 名
6 月 13 日	ネットワーク型ＲＴＫ法測量	宮嵜　久	金沢市（地場産業振興センター）	23 名
6 月 21 日～22 日	デジカメを使った写真測量のしかた	村井俊治 大谷仁志	三条市（燕三条地場産業振興センター）	26 名
7 月 2 日	路線測量技術	福島和好	新潟市（新潟テルサ）	35 名
7 月 3 日	用地測量技術	福島和好	新潟市（新潟テルサ）	39 名
8 月 29 日～30 日	「簡易型技術提案書」対策講座	瀬戸島政博 住田英二	長岡市（ハイブ長岡）	22 名
9 月 25 日	地理空間情報技術セミナー	瀬戸島政博 白井康友 森　康祐	福井市（地域交流プラザ）	33 名
3 月 11 日～14 日	測量士補答案練習セミナー（Ｗｅｂ）	柴田義冬、高橋保博、植竹政夫、山本国雄、福島和好	富山市（測量会館）	3 名

【本部主催】

開催日	講　習　会　名	講　師	開　催　場　所	受講者
4 月 23 日 ～26 日	路線測量設計（Ⅰ）web	千田、東田、高木	新潟市（技術士ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ）	14 名
7 月 8 日 ～12 日	環境調査（Ⅰ）web	―――	富山市（測量会館）	中止
7 月 18 日 ～24 日	基準点測量Ｂ課程（基準点測量コース）	高橋保博	三条市（燕三条地場産業振興センター）	21 名
9 月 17 日 ～20 日	路線測量設計（Ⅱ）web	高木、東田、渡邊	新潟市（技術士ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ）	7 名
10 月 8 日 ～11 日	環境調査（Ⅱ）web	―――	富山市（測量会館）	中止
10 月 15 日 ～16 日	測量・地図の中級講座（ＧＮＳＳ）	柴田義冬	富山市（大山地域市民センター）	15 名
10 月 17 日 ～18 日	測量・地図の中級講座（ＴＳ）	柴田義冬	富山市（大山地域市民センター）	6 名

行事等の報告

◯「とやま地図作品研究会」総会を開催

第 5 回とやま地図作品研究会総会が、5 月 26 日（月）に測量会館で開催されました。今年度は昨年の応募数の減少を踏まえて、6 月 4 日の県小中学校校長へ案内を配布し、校長先生に対する認識を深めていただき、また、審査員に新たに現役の先生を加えることによって、大幅な応募数の増加に繋がるよう取り組みを行っています。

大まかなスケジュールは、9 月中に作品を募集し、10 月に一次審査、本審査を行って入賞作品を決定します。11 月 22 日～24 日にファボーレで入賞作品の展示会を開催し、表彰式は展示会の初日（22 日）に同会場で行うことにしています。

公共測量品質管理優秀賞表彰行われる

日本測量協会は、平成 25 年度に実施した公共測量成果（基準点測量、地図作成）の検定において、品質（品質管理）が特に優れていたと認められる作業機関（測量会社）31 社（優秀賞 19 社、奨励賞 12 社）を 6 月 24 日公表しました。

「品質管理優秀賞」の表彰制度は、平成 17 年 4 月「公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）」の施行を機に、測量成果の品質確保および測量会社の技術力向上につながることを期待し、当協会が創設したもので、今年が 10 回目となります。

測量成果の検定については、国や地方公共団体等が発注する公共測量は、「公共測量作業規程の準則」の中で「高精度を要する測量成果又は利用度の高い測量成果で、計画機関が指定するものについては、第三者機関による検定を受けなければならない」とされています。これにより公共測量として実施される大半の測量作業の測量成果が検定の対象となります。

北陸地区では、株式会社サンワコン（福井市）が優秀賞（基準点）を受賞（4 回目）し、6 月 24 日に授賞式が行われました。なお、奨励賞は当支部では該当がありません

でした。
　また、関東地区では、株式会社ナカノアイシステム（新潟市）も優秀賞（地図）を受賞（6 回目）しております。

森技術センター長から記念の楯を受ける若林社長（左）

ジオメトリストの会（ＧＭの会）発足

　日本測量協会が認定している「地理空間情報専門技術者」で構成する「ジオメトリストの会」（ＧＭの会）が 4 月 1 日に発足しました。
　同会は、地理空間情報技術の更なる発展に貢献するため、技術者相互の情報共有、専門技術力の向上に向けた集団として、企業横断型の役割を果たしていくことを目的に、活動は、技術発表会と講演会の開催、情報交換、研修会、講習会、出版、提言などの事業を行う。また、最新専門技術を蓄積した測量技術者としての実務能力の向上と社会的認知の向上に向けた活動を展開し、メールマガジン等を通じて最新情報の発信と会員間の情報共有も推進することとしています。
　事務局は日本測量協会技術教育部（文京区小石川）に置き、現在、この会に入会する会員を募集しています。平成 27 年度に同会の北陸支部発足のために多くの認定技術者の入会をお待ちしています。

・入会資格：地理空間情報専門技術者の資格保有者
・年　会　費：2,000 円
・入会方法：ホームページに掲載

ｅラーニングシステムの導入

　日本測量協会では、平成 26 年度から『地理空間情報専門技術認定講習会』の一部を『ｅラーニングによる自己学習システム』により実施することになりました。ｅラーニングとは、学習者がパソコンを使用して、インターネットなどを通して教材を閲覧・学習するシステムを言います。教材の閲覧学習だけでなく、試験問題に対する回答も期間内なら何回もチャレンジできるようになり、継続教育学習がし易くなります。
　講習科目については次のとおりです。
①地理空間情報技術（全認定資格共通科目）
②技術管理（各種 1 級資格共通科目）
③測量技術者の倫理と安全管理（各種 2 級・級なし資格共通科目）
④地理空間情報専門技術認定登録更新講習

平成 25 年度　会員の状況

会員種別	H25.4.1 現在	H26.3.31 現在	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正　会　員	457	487	30	237 (28)	104 (-4)	85 (2)	61 (4)
準　会　員	1	1	0	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
特別会員	174	178	4	80 (3)	43 (0)	35 (1)	20 (0)
計	632	666	34	317 (31)	147 (-4)	121 (3)	81 (4)

空間情報技術事例発表会開催要綱

平成２６年１月２４日

公益社団法人日本測量協会北陸支部
「空間情報技術事例発表会」開催要綱

１．名　称
　公益社団法人日本測量協会北陸支部（以下「北陸支部」という。）「空間情報技術事例発表会」
２．目　的
　この技術発表会は、北陸支部管内の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）技術者が、業務上の経験や研究成果、日頃感じている技術上の問題点について発表することによって、技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報共有を図って行くことを目的とする。また、この発表を日本測量協会が募集する空間情報技術事例報告集への投稿の端緒とする。
３．主　催
　北陸支部
４．共　催（依頼予定）
　一般社団法人新潟県測量設計業協会
　一般社団法人富山県測量設計業協会
　一般社団法人石川県測量設計業協会
　一般社団法人福井県測量設計業協会
５．後　援（依頼予定）
　国土地理院北陸地方測量部
　北陸地方整備局
　開催県
６．発表者
　（１）北陸支部管内（新潟県、富山県、石川県、福井県）の空間情報技術者又は空間情報に関係する学生等で、原則として概ね 40 才未満の者とす

る。
（２）発表者は、その年の開催県の者を優先し、5～6 名を目途とする。
７．発表会の開催場所
第 1 回目（平成 26 年）の発表会は新潟県とし、以降、富山県、石川県、福井県の順に毎年開催する。
８．発表時間
一課題の発表時間は、質疑応答を含め 20 分以内とする（発表 15 分、質疑 5 分）。
９．募集内容
発表内容は、発表者自身の業務上の体験及び研究成果や発表者が日頃感じている問題点等の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）に関係した内容とする。
10．募集案内
北陸支部は、管内の会員等に対して、メールマガジン、ウェブサイト等を活用し、広範な募集に努めることとする。
11．応　募
（１）発表希望者は、3 月末までに北陸支部事務局に会社名、氏名、年齢、発表名を申し出ることとする。
（２）発表の決定を受けた者は、5 月末までに発表する内容の概要（要点：200 文字～300 文字）を北陸支部事務局に提出することとする。
（３）発表当日の資料は、事前（10 日前まで）に北陸支部事務局にメールで提出することとする（発表するパワーポイントをレジメ（発表当日の資料）としてもよい）。
12．審　査
審査基準、審査員は別途定める。
13．表　彰
審査の結果、特に優れた発表者に対しては、賞状を授与するものとする。

測量技術者継続教育証明制度（SUCCESS）の登録及び更新を行いましょう。

夏本番を迎え、今年は局地的な集中豪雨による災害が発生することがあります。また、台風シーズンも近づいて来ます。災害への備えは十分にしておきましょう。

編集・発行　　**公益社団法人　日本測量協会　北陸支部**
〒939-8094　富山市大泉本町 1-12-14　（測量会館内）
◯　事　務　局　・TEL 076（422）3305　・FAX 076（422）3403
E-mail　hokuriku@jsurvey.jp
◯　技術センター　・TEL 076（421）5445　・FAX 076（422）3403
E-mail　hokuriku@geo.or.jp